

## お問い合わせ

茨城大学はメインキャンパスが3つあり、研究・産学官連携機構も各キャンパスにオフィスを設けています。下記のいずれのオフィスにご連絡いただいても全学の研究シーズから最適なマッチングをご提案いたします。

ご相談の際は、下記メールアドレスもしくは各オフィスへ電話にてご連絡ください。

### 全オフィス共通メールアドレス

iric@ml.ibaraki.ac.jp

### 日立オフィス

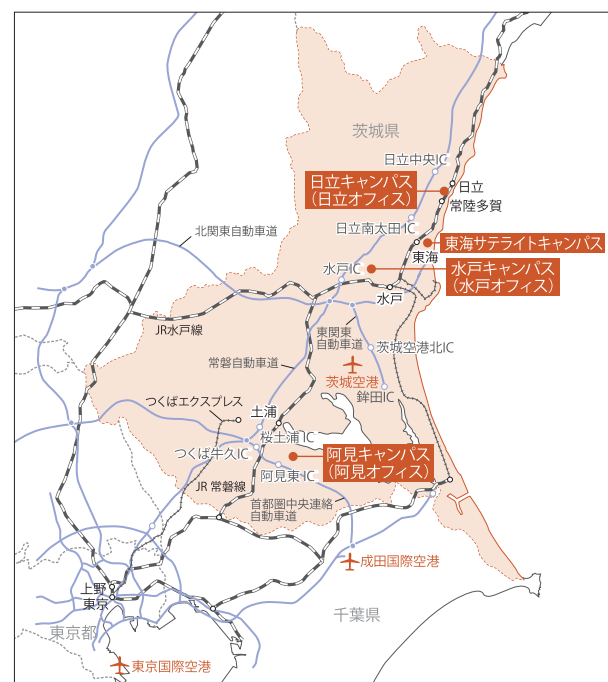
〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1  
茨城大学 日立キャンパス (N5棟3階)  
TEL.0294-38-5005 FAX.0294-38-5240

### 水戸オフィス

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1  
茨城大学 水戸キャンパス (事務局棟3階)  
TEL.029-228-8835 FAX.029-228-8586

### 阿見オフィス

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1  
茨城大学 阿見キャンパス (事務管理棟2階)  
TEL.029-888-8509 FAX.029-888-8525



### ● 研究・産学官連携機構

<https://www.iric.ibaraki.ac.jp/>



### ● 研究シーズ紹介

<https://seeds.ibaraki.ac.jp/>



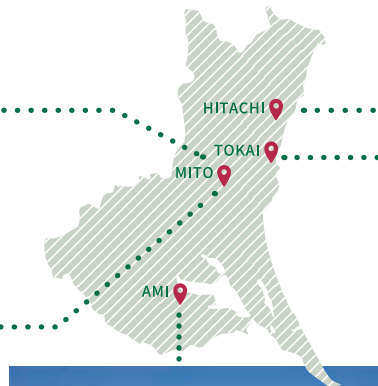
## 茨城大学について

茨城大学は、1949年に開学した70年の歴史をもつ総合大学です。水戸、日立、阿見のメインキャンパスに加え東海サテライトキャンパス、水戸駅南サテライトを有し、他にも複数の拠点を県内に設置しています。

現在、人文社会科学部、教育学部、理学部、工学部、農学部、5学部、さらに全学教育機構、地球・地域環境共創機構 (GLEC)、フロンティア応用原子科学研究センター (iFRC) などの教育研究組織を擁しており、教員数は約530名、学生数は学部、大学院を合わせて約8,000名となります。茨城大学ではこのような体制のもと、知の拠点として地域社会と協力しながら、学生がたくましく育つ大学、世界で特色が輝く大学をめざしています。



水戸キャンパス



日立キャンパス



水戸駅南サテライト



東海サテライトキャンパス



阿見キャンパス

## 研究・産学官連携機構

**iRIC** Research and Innovation Center,  
Ibaraki University





## 機構長挨拶



研究・産学官連携機構長  
副学長(研究・産学官連携)  
金野 満

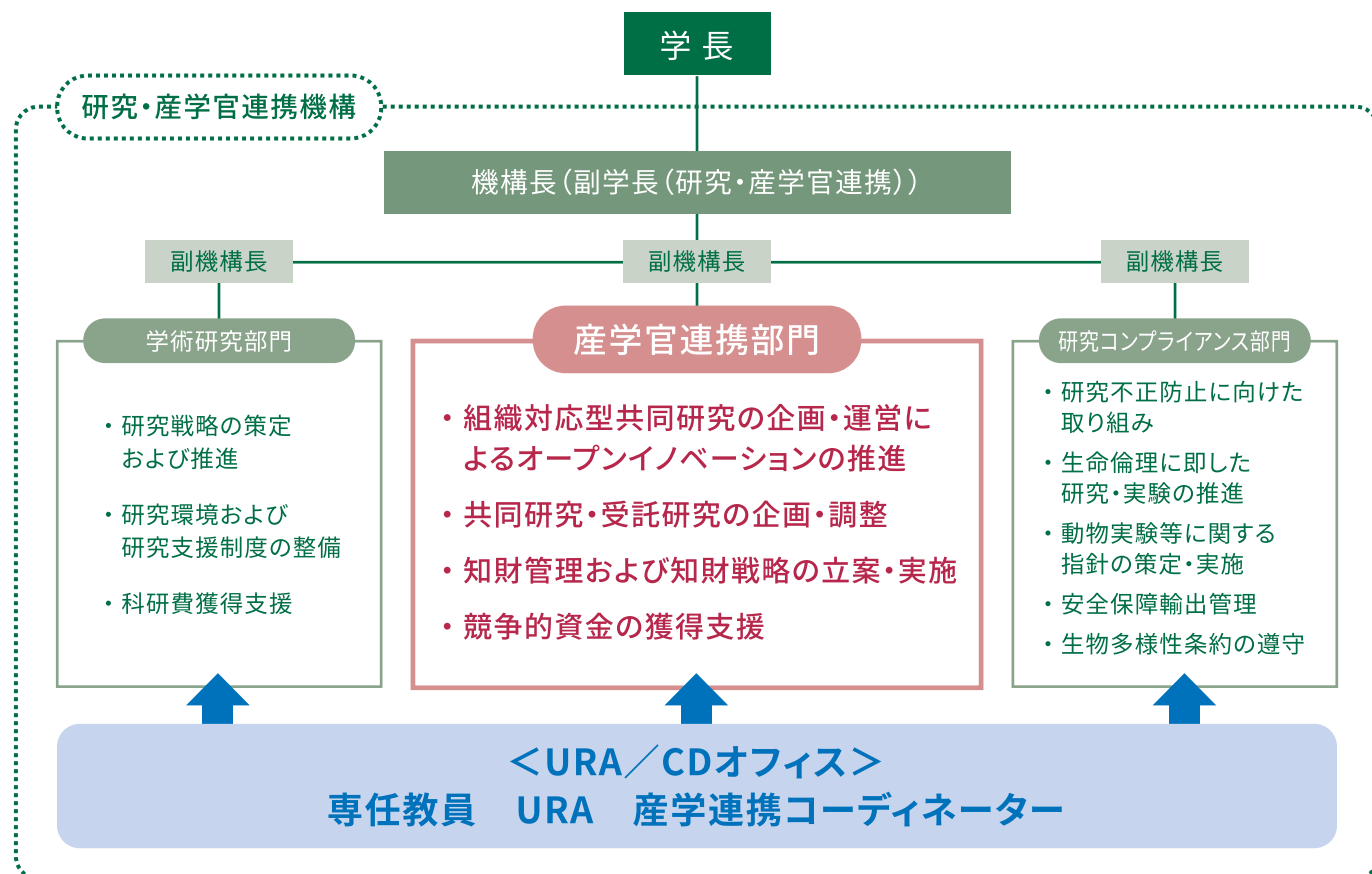
茨城大学研究・産学官連携機構は、研究機能をいっそう向上させるとともに大学の戦略として産学官連携を位置づけ、学術研究と産学官連携の融合による「知」の好循環と地域社会への貢献を目指し2018年に発足しました。

本学が立地する茨城県は、多様な自然環境を有すると共に農業や工業、先端科学技術の集積地の一つとなっています。同時に、災害の激甚化を含む気候変動の影響、少子高齢化、産業構造の変化への対応など多くの社会課題も顕在化しています。

研究・産学官連携機構では、学内のあらゆる知を結集して地域の皆様と社会課題の解決に取り組み、社会の持続的発展に貢献していきます。そしてその成果を世界へ発信し、茨城の地から国際的課題の解決にも挑戦します。

私達の挑戦には、地域の皆様との連携が不可欠です。是非、私達と課題やイノベーションへの熱意を共有させてください。

## iRIC (アイリック) 組織概要



【専任教員】URA/CDオフィス長として、産学連携コーディネーターおよびURAを統括します。

【University Research Administrator (URA)】大学における研究企画立案、研究資金の獲得支援を行います。

企業の皆様と連携した研究企画、研究資金の申請支援にも取り組みます。

【産学連携コーディネーター (CD)】企業や自治体の皆様からの技術相談や共同研究相談に対応し、大学の研究者との橋渡し役を担います。

**URA/CDオフィスが一体となって、企業や自治体の皆様の要望にお応えします!**

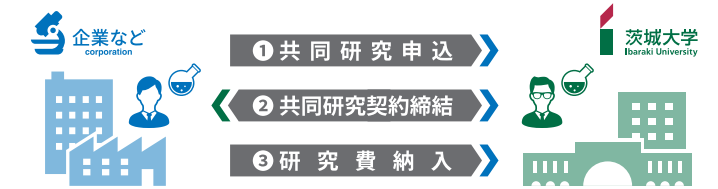
## 産学官連携の推進

産学官連携部門では、大学の持つ研究成果や研究環境を活用し、産学官の連携を企画・推進することで企業や自治体の皆様からの期待に応えていきます。これまでも、産学官連携部門を中心に個別の共同研究、組織対組織の包括的な共同研究、そして複数の企業や自治体の皆様と連携した研究開発プロジェクトなど様々な企画を推進してきました。

### > 産学官連携メニュー

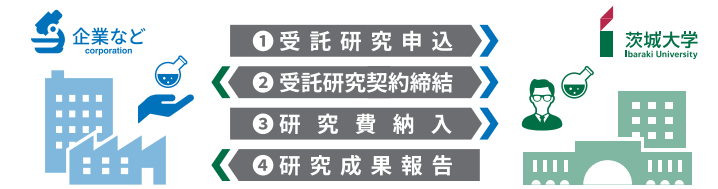
#### 共同研究制度

企業等からの課題の提示、研究費の受け入れに基づき、企業と大学の研究者が共通の課題について対等な立場で行う研究です。



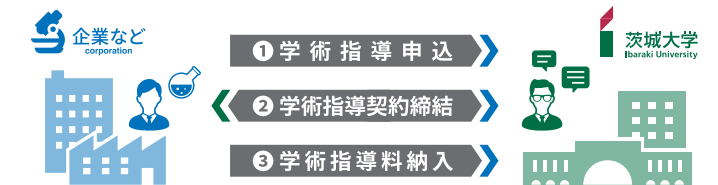
#### 受託研究制度

企業等から委託された特定の課題について、大学の研究者が研究を行い、これに要する経費を委託者が負担する制度です。



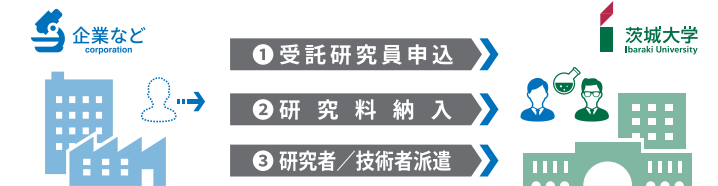
#### 学術指導制度

企業等(相談者)からの相談を受け、大学の研究者が指導及び助言を行い、相談者の業務又は活動を支援するもので、これに要する経費を相談者が負担する制度です。



#### 受託研究員制度

大学が企業等から現職の研究者や技術者を受託研究員として受け入れ、指導教員のもとで大学院レベルの研究指導を行うものです。



#### 寄附金制度

学術研究や教育の充実・発展を目的として企業や個人篤志家などからの寄附を受け入れる制度です。



### 共同研究や受託研究等の基本的な流れ



STEP 1 まずはご相談ください  
研究や技術開発について「どうしよう?」と悩んだら、まずは茨城大学にご相談ください!

STEP 2 教員との面談  
ご相談内容に適した教員を紹介します。面談日時等の調整も行います。

STEP 3 研究実施にむけて調整  
研究内容に応じて共同研究制度や受託研究制度など最適な方法をご提案します。

STEP 4 契約&研究スタート  
共同研究 研究が進んだのちに、知財化の相談にも対応します。  
受託研究  
学術指導 → 共同研究

研究・産学官連携機構が窓口となり、皆様からの相談に対応します。

ご要望に応じて教員との面談調整、研究体制の構築、外部資金の獲得など幅広くサポートいたします。